



長尾 義信

地域医療の充実に向けた現状課題と今後の対策

問 4月1日から旧東診療所が能勢町国民健康保険診療所になり、地域医療の拠点としてスタートしたが、診療所施設の立て看板、道路標識がなく住民には十分に周知されていないと思われる。

答 また、通院にあたっての交通手段、支援の対策及び効率的かつ効果的な医療提供の体制についての考えを問う。

答 立て看板等の設置については特に考えていないが、今後検討をしていきたい。

交通対策については、複数の民間医療機関が送迎をされていることから診療所独自の送迎については現在検討していない。

健康で明るいまちづくりの実現を!!

い。

また、医療提供の体制については、医師による訪問診療、看護師による訪問看護の取組み、在宅医療の体制の整備を進めていく。

国民健康保険証の個人カードを丈夫な材質への変更を要望した。



近畿高校駅伝大会開催に向けての進捗よく状況

問 11月27日に大会が開催されるが、本町として



大会を盛り上げ、成功させるための準備体制は整っているのか。また、この機会に能勢の観光振興や地域資源の魅力を外に発信するための対策について問う。

答 交通規制に係る住民周知、沿道警備等のボランティアの確保など体制整備に努めている。あわせて、大会を盛り上げる準備を商工会や観光協会等関係団体を通じ働きかけを進めている。

一般質問



中西 顕治

新学校での不登校対応は

問 不登校の状況と対応を問う。

答 確認している不登校児童生徒は全体で13名、30日以上欠席が6名と厳しい状況である。登校を促すことを校長会を通じて学校に指示をした。



問 不登校まで至らずも教室に入れない児童生徒への対応は。

答 教室に入ることができず、よつば教室という教室に登校している児童もいる。よつば教室は児童玄関ではなく別の入り口から入れる設備になっており、スクールサポートが常駐して状況を把握しながら、学習もできる環境を整備し、子どもたちの状況に合わせながら対応をしている。

問 不登校の要因が解消できないままの勧奨が事態を悪化させる例があると聞くが、今回は解消の確信があつての指示か。

答 不登校の要因は家庭環境、友人関係など様々である。その辺は十分把握した上で対応していく必要があると思う。一律に登校を促すことが本当にいいことかどうかは十分に気をつけなくてはならないと考える。ただし、研究等で学期の変わり目などでは登校で

不登校の要因の解消には学校、教育委員会のみならず、福祉部門や専門家も協力して解消に手を尽くすべきではないかと考える。

